

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

200号達成



朽ちた切り株の表面にも、生命の営みを観察できます。

やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 (認定 NPO 法人) かながわ森林インストラクターの会

〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内

☎045-412-2255 URL: <https://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林森の案内人(定期)観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

やどりき水源林は実りの秋たけなわ！



10月下旬の秋晴れの日、やどりき水源林を訪れ、水源林ゲート周辺と林道コースを散策してきました。林間広場のカツラの黄葉、一部でしたがイロハモミジの紅葉が始まっていました。秋本番は、もう間近、ぜひ、素晴らしい紅葉の景色が見られる水源林にお越しください。

＜ 秋の花にも会えました。 ＞



セキヤノアキチョウジ
(“関屋の秋丁字”の意で、箱根関で採集されたのが発端。)



ホトトギス
(紫色斑点の模様が鳥のホトトギスの胸の斑点に似る。)



ノコンギク
(野に咲くコンギク(紺菊)の意で、紺菊の野生種。)

＜＜ 興味深いものを地面にを見つけました。＞＞



ナラタケ（キシメジのなかまで食用とされていますが、野生のキノコは確定しない限り口にするのは止めましょう。）



エリマキツチグリ（球の基部にエリマキが見えます。）



ムクロジの実（果実は石鯨の代わりに、種子は羽根つきの羽根の玉に使われます。）

＜＜そして、実りの秋です。＞＞



ミヤマシキミ
（水源林の中で、真っ赤な実が映えています。）



マムシグサの仲間
（茎がマムシ柄の模様です。）



サルナシ
（ミニキウイと呼ばれます。）



キブシ
（江戸時代までのお歯黒の染料の材料。）



サンショウ
（英名: Japanese pepper）

年明け 3 月の水源林のハイライト

12 月からは冬季の休みに入りますが、3 月には「森の案内人」によるガイドが再開されます。3 月はミツマタの花を鑑賞するのに、最高の季節がやってきます。3 月 11 日(土)にはとっておきのミツマタ群生地までご案内するイベントが開催されます。ぜひ、お越しください。



11 月 まだ蕾のミツマタ



咲き誇るミツマタ群生